

### 私の意見

ドットコムディティ  
副社長  
車田 直昭



社会の中で存在する、またしてや事業をするとなると、社会のルールに従わなければなりません。場合によっては、レッドカードを受けての退場になります。社会のルールには、業界団体の自主規制ルールはもとより、広い意味では道徳規範や企業のモラルも含まれますが、法律は絶対に守らなければならぬコアのルールです。

## 問題委託者に負けない業界

### 情報交換体制の構築を

個人情報保護法により、われわれ事業者はあらかじめ顧客が同意した目的以外のために顧客の個人情報を利用することはできません。また、不正の手段によって個人情報を得ることは厳に禁じられています。ひと昔前にはなにか日常的に商品取引会社がやっていたことも知られませんが、どこからか名簿を調達してこれをもちに勧誘の電話をかけてくるといふことは、わが業界には必要ないと考えられる「不招請勧誘の禁止」が導入されずとも、すでに個人情報保護法違反です。

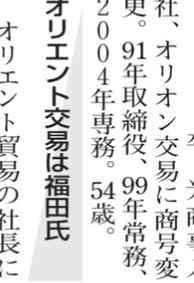
### 新社長



日本ユニコムは重光氏  
日本ユニコムは6月29日付で重光達雄副社長の社長昇格を決定した。河島毅社長は副会長に就任。

オリオン取引は若村氏  
オリオン取引は、6月15日付で若村専務が社長に昇格した。篠原定功社長は

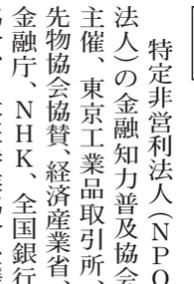
### 若村 郷



若村 郷(わかむら) 59年立命館大学経済学部卒、光商事入社、オリオン取引に商号変更。91年取締役、99年常務、2004年専務。54歳。

福田 國幹(ふくだくに) 早稲田大学第一商学部卒、1959年日産証券入社、68年セゾングループへ転籍、75年ダイエーグ

### 若村 郷



若村 郷(わかむら) 59年立命館大学経済学部卒、光商事入社、オリオン取引に商号変更。91年取締役、99年常務、2004年専務。54歳。

福田 國幹(ふくだくに) 早稲田大学第一商学部卒、1959年日産証券入社、68年セゾングループへ転籍、75年ダイエーグ

### 自分流ライフスタイル探す

「豊かな退職後の生き方」創造  
7月15日NHK土曜フォーラム放送

特定非営利法人(NPO)の金融知力普及協会主催、東京工業品取引所、先物協会協賛、経済産業省金融庁、NHK、全国銀行協会、日本証券業協会後援の「団塊世代のための金融経済教育シンポジウム」が、6月26日、東京・紀尾井町の千代田放送会館ホールで開かれ、中高年層中心に約200人が参加、熱心に聴講した。この模様はNHK教育テレビ7月15日午後11時30分から翌日零時40分にかけての「土曜フォーラム」で放送される予定。

「社名変更」  
入や萬成証券は7月1日付で、社名を「ばんせい証券」に変更した。

### 日商協 経営幹部セミナー



日商協は7月4日(東京、サンケイプラザ)、11日(大阪、KKR大阪)の両日、コンプライアンス強化特別事業の一環として第8回経営幹部セミナーを開いた。

### 法令遵守はトップの責任

引とはどういう取引か、どうあるべきかを皆でよく考えて実践してほしい」と述べた。また升田氏は「コンプライアンス違反を防止するためには内部統制システムの構築と運用が緊急の課題である」と論じた。

### 団塊世代700万人

コディネーターの福島敦子(キャスター、エッセイスト)は、まず、第2次大戦後の1947年から1949年に生まれた「団塊の世代」はおよそ700万人。2007年以降は、この世代が60歳を超え、大定年時代を迎えます。常に日本の社会に大きな影響を与え続けている団塊世代の金融経済について考えた。今後の日本社会のモデルとなりうるのかと問題を投げかけた。

### 金融サービス周回遅れ

多摩大学大学院の濱田隆道客員教授は、日本の個人金融資産は1,500兆円に達し、団塊世代の退職金80兆円ともいわれているが、日本の金融機関はバブル期

### 奉仕精神芽生え派か

その後、パネリストと来場者の皆さんで、「定年後一度学生派、田舎暮らし

### JCCH 約4、400億円に 6月末の先物預託証拠金

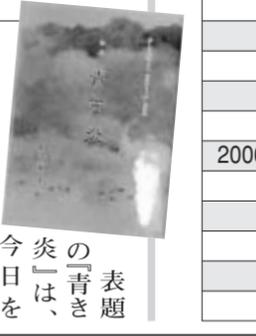
日本商品清算機構(JCCH)へ預託される全国6商品取引所の取引に関する預託証拠金残高は、4、5ヶ月と出来高合計が前年同月を上回り、取組も増えたこともあって、5、6月の間で、000億円の増え、6月は前月比14.7%減と大きく減

月末の預託証拠金残高の推移 (単位:千円)

月	末	証拠金計
2005年	6月	376,254,907
	7月	370,156,422
	8月	368,030,314
	9月	383,713,602
	10月	401,763,140
	11月	461,604,650
	12月	474,042,458
2006年	1月	503,332,177
	2月	469,313,509
	3月	496,838,656
	4月	541,845,833
	5月	515,359,981
	6月	439,564,029

### 「転生やこの道一途 青き踏む」 傘寿記念、後藤典雄氏が句集

山種物産(現アサヒトラスト)社長で(社)商品取引受託債務補償基金協理理事長をつとめた後藤典雄さんが傘寿を記念に、このほど句集「青き炎」を上梓した。60句を収める。



表題の「青き炎」は、今日を生きるという命の営みの中で得た一句「青き炎の揺らぐ身を灼く夏野かな」による。

宇咲師が後藤さんの句才にはじめて着目したのは一緒に旅吟した時の「秩父路に入るや俄に山笑う」であった。戦火をくぐり抜けた人ならではの句もある。「幾山河越えて来て寂し夏の蝶」「蟬鳴くや今生の身を振り絞り」。両親を詠んだ絶品「父母がいてほくらが涙の星にあり」。彼岸花に女の情念をみる「情念のふたたび受珠沙華に」。生涯現役、青春の心を持ちたいと願う後藤らしい句が二つ。「定年のほの燦々冬紅葉」「風光る気宇壮大を身の内に」。カバリーに奥田元宗画伯作「時雨」を配したのは山種関係者ならでのこと。

S、NOをたどるタイプ別診断(死ぬまで現役派、も一度学生派、田舎暮らし派、奉仕精神芽生え派、子離れ進め派、熟年離婚派、堅実路線派)を行った。